

日本無線硝子 株式会社



高度な手吹き硝子の技術を守る国内トップの工業用ガラスメーカーです。

手吹きによるハンドメイド成形の伝統を守り、多品種少量の工業用ガラス製品を提供しています。

耐熱性、化学的耐久性が優れた硬質ガラスを用い、医療用電子管、各種高圧放電灯、照明用機材や各種産業用機器に使用され、社会基盤の支えとして貢献しています。

ノーベル賞の研究を支える硝子職人の技が世界一



〒356-0011 ふじみ野市福岡2-1-8
TEL 049-264-4411
FAX 049-263-6357
Web <https://www.jrg.co.jp>
代表者 取締役社長 吉田桂二
資本金 1億円
従業員 102名（2025年12月現在）
設立年 1979年

国際資格の取得、主な表彰、開発実績

- ISO14001環境マネジメントシステム
- 小柴昌俊博士のノーベル物理学賞受賞（2002年）、梶田隆章博士のノーベル物理学賞受賞（2015年）のニュートリノの研究に貢献。



微細な工業用ガラス製品

主要事業、得意技術や自社製品の紹介

- かつては真空管を製造し、宇宙の謎を解き明かすカミオカンデの光電子増倍管から、イカ釣り集魚灯などの特殊電灯やX線管・イメージ管など医療用機器まで、多岐に渡るガラス製品を提供しています。
- 用途は最先端でも、製造工程は今も手吹きであり、職人の匠の技が生きています。
- 小柴昌俊博士が2002年にノーベル物理学賞を受賞する実績となったニュートリノを検出したカミオカンデや、2015年の梶田隆章博士がノーベル物理学賞受賞で注目されたスーパーカミオカンデに用いられているガラス部品を製造。

現在は、次世代のハイパーカミオカンデの建設に向けて、取り組んでいます。

提供したいこと&求めるこ

- 大型～小型の硬質ガラス機材の成形・加工について、ご相談ください。
- ガラス成形の経験者を募集中。詳しくはWeb採用情報にて。



医療用ガラス器具の成形工程



手吹き職人による作業

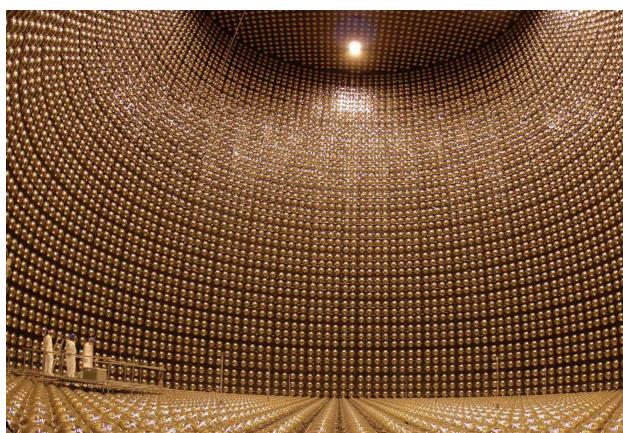


各種電子管用ガラスバルブ

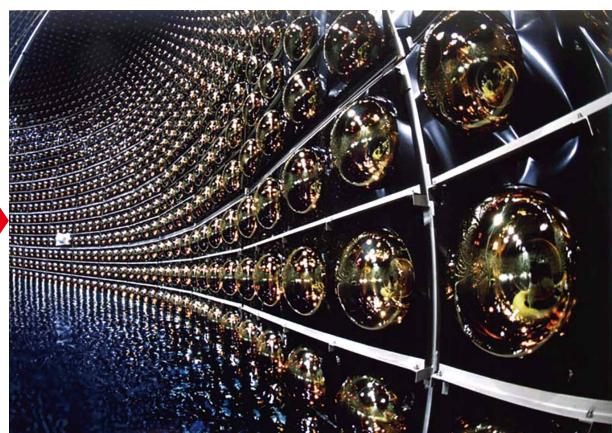


舞台照明用フレネルレンズ、航空機の着陸誘導灯等

永年培ってきたガラス加工技術をもって、医療用撮像管、X線管など、お客様の求める高度な技術・品質水準の製品を供給



スーパーカミオカンデ内 小さな点が精巧なガラスバルブ



スーパーカミオカンデの直径50cmの光電子増倍管用ガラスバルブ